

2/19~25

佐倉・成田へ!

助役柵闘士線見策動粉碎

日刊 動労千葉

81.2.18

No.661

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五・六・八(夜)三三三二・七二〇七

2/16 オ五回 支部代表者会議 確認

本紙(No.658)で既報のように権力・国鉄当局は、動労千葉の813ジェット闘争に対して「ジェット列車を一本も止めるな」という方針のもとに、助役柵闘士を導入することを決定し、2月19日から線見訓練を実施することを決定した。動労千葉は2月16日、オ5回支部代表者会議を開催し、この助役柵闘士線見を阻止すべく全組織をあげて決起することを確認した。

明白なスト破り策動

助役柵闘士導入は、明らかに三月ジェット闘争に対するスト破壊攻撃であり、労組組合運動の根幹に対する重大な挑戦である。

オ5回支部代表者会議は、国鉄当局・権力一体となった線見(スト破り準備策動)強行に対する大衆的抗議行動を展開し、スト破りを許さない態勢を構築するとともに、あらゆる戦術を駆使してこれを阻止する取り組みを、大要次の通り決定した。

一、2月18日、助役柵闘士導入撤回を要求して団体交渉を実施する。この場合、三月以降の助働問題の取り扱いについては執行部一任とする。
二、2月19日から25日まで(22日は除く)の向をオ5回助役柵闘士導入(線見強行)阻止決起行動とし、次の諸行動を実施する。

- ①、2月19日～25日までの向、全組合員を対象とする抗議の減産闘争を次の通り実施する。
 - ②全乗務員……2月19日～21日まで(各日とも始発時から12時まで)減産闘争(A行動)実施
 - ③全乗務員……2月23日～25日まで(各日とも始発時から12時まで)減産闘争(B行動)実施
- ②、2月19日～25日までの向、佐倉、成田拠点において大衆的抗議行動を次の通り実施する。
(オ5回佐倉支部オルグは中止する。)

日時 2月19日～25日、各日6時30分集合。

集合場所 佐倉支部↑新小岩、幕張、蘇我、木更津、館山、勝浦、の各支部。

成田支部↑津田沼、千葉駅、の各支部。

いよいよ決戦!

オ5回支部代は、以上の取り組みに加え、権力の介入等、当局側の出方によつてはストライキも含む戦術の拡大をもつて対応することとし、

①、佐倉、成田支部は2月19日始発時以降、燃料列車を中心にストライキ実施の準備体制を確立する。

②、全支部は、2月19日始発時以降、全乗務員を対象とするストライキ実施の準備体制を確立する。

の二点を確認し、動労千葉闘争委員会は2月16日、以上の確認にもとづく闘争指令オ8号を発出した。

総決起しよ!

全組合員のみならず、われわれはこの助役柵闘士線見阻止闘争をもつて、いよいよ三月ジェット闘争の決戦段階の闘いに突入する。

われわれはこの向「813」までに動労千葉をつぶせという目的でかけられてきた権力当局と「本部」反動分子の攻撃を完全に粉碎し、闘争体制を強化してきた。この動労千葉の力を恐れ、権力・当局と本部「反動分子」はじめとする諸反動が「813」を通して動労千葉をつぶすべく助役柵闘士を導入してきたのだ。

しかし、この攻撃は、われわれが「813」へ敢然と決起し、叩いぬくことを通して粉碎されることは必至である。全てはわれわれの叩いにかかっている。この向のマル生闘争、船橋事故闘争、三里塚ジェット闘争、「本部」反動分子との組織争闘戦を勝ちぬいてきた全ての成果と組織の存亡をかけて、2.19～25佐倉、成田へ、総力で結集せよ!